糖尿病の検査

1. *血糖コントロール状態を知るための検査*
   - 検尿(糖・ケトン体)
   - 血糖値(空腹時血糖・食後血糖・血糖日内変動)
   - 糖化タンパク(HbA1c, グリコアルブミン, フルクトサミン)
2. *膵β細胞機能を知るための検査*
   - 血中インスリン(IRI: immunoreactive insulin), HOMA-β
   - 血中・尿中 C-ペプチド(CPR: C peptide immunoreactivity)
   - 75 g OGTT, グルカゴン負荷試験
3. *膵β細胞に対する自己免疫反応の有無を知る検査*
   - 抗グルタミン酸脱炭酸酵素(GAD)抗体
   - 抗膵島抗体(ICA), 抗IA2抗体, 抗インスリン抗体(IAA)
4. *合併症を知るための検査*
   - 体重測定, 検尿(タンパク・微量アルブミン), eGFR, 腱反射, 振動覚
   - 血清LDL-C, HDL-C, 中性脂肪, リポ蛋白(a)
   - 心電図・胸部X線, 眼底検査, 頸動脈超音波検査

このけんさで1型の人だとわかる。

血糖自己測定
(SMBG: self monitoring of blood glucose)

- 患者さん本人が血糖を測定することで、より良い血糖コントロールに役立つ。
- 手軽に測定できる機械が複数、発売されている。
- インスリン療法中の人のみ保険が適用されるが、より良い血糖コントロールのために費用を自己負担で取り組む人もいる。

自己血糖測定が特に有効な場合
- インスリン療法をしている人（１型糖尿病、２型糖尿病ともに）。
- 妊娠時あるいは妊娠希望時。
- 糖尿病以外の病気にかかった時（シックデイ）。
- ポンプ療法など、特殊なインスリン療法をしている場合。
- 無自覚性低血糖発作のある人。

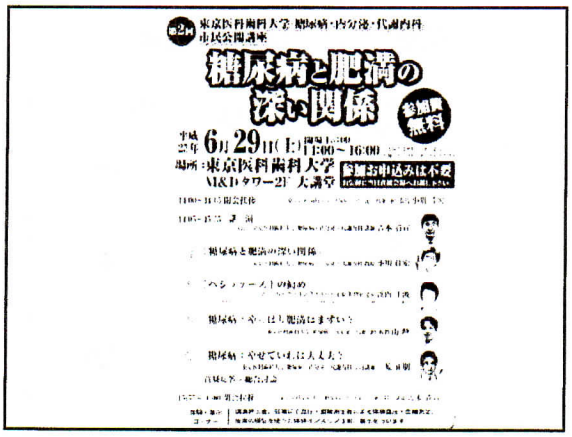
（後藤由夫 監修, 糖尿病セミナー 6「血糖自己測定とは」より）

糖尿病の治療は？

- 糖尿病治療の基本は、食事療法と運動療法、すなわち生活習慣の是正
- 効果不十分なときは薬物療法を追加する

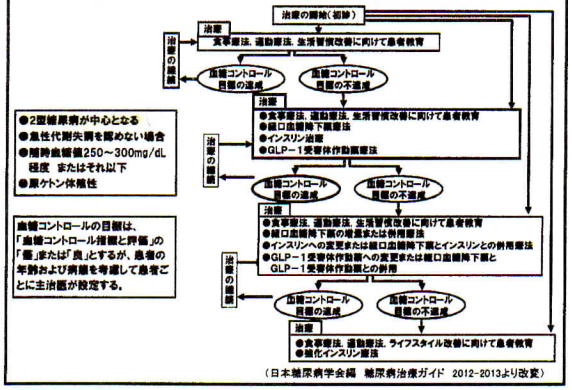
（平成24年度東京医科歯科大学糖尿病・内分泌・代謝内科市民公開講座より）

教室主催の市民公開講座（H24.9.29）



2型!!

インスリン非依存状態の治療



（日本糖尿病学会編 糖尿病治療ガイド 2012-2013より改変）